

研究区分	教員特別研究推進（国際共同研究・国際交流の促進）
------	--------------------------

研 究 テーマ	看護学部における COIL 活用によるグローバル教育改革プロジェクト				
研究組織	代 表 者	所属・職名	看護学部・講師	氏名	根岸 まゆみ
	研究協力者	所属・職名	タイ国立コンケン大学 看護学部・准教授	氏名	Thiwawan Thepha
		所属・職名	タイ国立コンケン大学 看護学部・准教授	氏名	Juraporn Tangpukdee
		所属・職名	オレゴン健康科学大学 看護学部・講師	氏名	Ruth Tadesse
	発 表 者	所属・職名	看護学部・講師	氏名	根岸 まゆみ

講演題目
国際オンライン協働学習を活用した看護学部におけるグローバル教育プログラムの開発
研究の目的、成果及び今後の展望
【研究の目的】 近年、医療現場では外国人患者や医療従事者の増加に伴い、看護職には英語によるコミュニケーション能力と国際的視野が求められている。本学看護学部では2018年度より国際オンライン協働学習（COIL）を導入し、海外大学との協働授業を継続してきた。本プロジェクトの目的は、COILを活用したグローバル教育をさらに発展させることであり、①タイ・Khon Kaen University（KKU）および米国・Oregon Health & Science University（OHSU）の看護学部教員との相互交流を通して教育環境への理解を深めること、②対面とオンラインを組み合わせたハイブリッド型COIL授業を共同で実施すること、③次年度以降の授業設計および運営体制を共同で検討することを目標とした。 【成果】 助成金を活用してKKU看護学部のCOIL担当教員1名を本学へ招聘し、授業見学や教育に関する意見交換を通して、本学の教育環境や学生の学習状況への理解を深めることができた。当初予定していたOHSU教員の招聘は、予算上の制約および日程調整の都合により実現しなかったが、オンラインによる継続的な協議を重ね、授業内容や運営方法について検討した。また、KKU主催の国際看護学会で構築した中国・右江民族医学院の看護学部教員および大学院生との学術交流を契機として、新たにCOIL授業への参加が実現した。その結果、中国、タイ（KKU）、米国の大学の看護学部教員・学生と本学看護学部2年生を対象に、「Comparing Strengths and Challenges in Building Disaster-Resilient Communities」をテーマとしたハイブリッド型COIL授業を計2回実施した。さらに、KKUとの協働においては、同大学看護学部教員および学生と本学部生との間でCOILセッションを計2回実施し、各国の災害対策や地域特性、看護の役割について英語で活発な討議が行われた。これらの学習活動を通して、多様な価値観や文化的背景を踏まえた看護への理解を深めることができた。加えて、各回の授業後には教員間で振り返りを行い、次年度以降の授業設計および運営計画を共同で立案することができた。 【今後の展望】 本プロジェクトを通して、海外大学教員との相互理解が深まり、新たな国際連携を含めた継続的な協働教育体制を構築することができた。今後は、OHSUとの対面交流の実現も目指しながら、ハイブリッド型COIL授業を継続・発展させ、異文化理解、国際協働力および英語による実践的コミュニケーション能力を育成する教育プログラムとして充実を図るとともに、その教育効果を検証し、看護学部におけるグローバル教育モデルとして発展させていきたい。